

Kodama Kazuhisa

児玉 和久

ジーアンドエスエンジニアリング
社長

九州・沖縄を担うトップ群像

「自然災害に強い街づくりに貢献する」

KYUSHU
OKINAWA
TOP
FILE

2017

MEMO

- 1969年4月22日生まれ
- 福岡市出身
- 福岡大体育学部卒

大学卒業後、地元建設会社勤務を経て、95年に同社入社。営業部長、常務、専務などを経て2013年1月から現職。技術者ではなく営業畑出身の社長は建設コンサル業界では異例。幼少から剣道に打ち込み、全国大会や国体出場経験を持つ有段者。息抜きは家族旅行と魚釣り。



この九州でも熊本地震など、想定外に起きる自然災害の脅威がクローズアップされているが、道路や橋梁などの構造物の調査、設計業務を手がける建設コンサルタントとして、改めて災害に強い街づくりに貢献し、災害に立ち向かっていくことの重要性を認識した。

当社は、過去に福岡市の山王公園雨水調整池の設計業務や、2016年に福岡県春日市に完成した「小倉第2雨水貯留施設」の設計業務などを通じて、街の災害対策に注力してきた。自然災害から大切なものを守るため、強い使命感を持って高い技術力を生かすことに努めたい。

技術力では、15年まで3年連続で東京都建設局から「優良工事等表彰」を受賞したほか、16年度は「空堀川整備工事（東芝中橋付近）に伴う補足設計」と「隅田川（尾竹橋上流）右岸防潮堤耐震対策詳細設計」の二つの工事で東京都建設局事務所長表彰を受けた。

こうした評価を励みにしながら、従来の枠組みにとらわれない新しい発想と意欲で、オンリーワンの技術力を磨くとともに、併せて農業土木分野など、新市場の開拓にも挑戦していきたい。